

改定特別版

LibraNews



《改定特別版》 診療報酬改定2024

新しい入院料“地域包括医療病棟入院料”を 検討する！

INTRODUCTION

「地域包括医療病棟入院料」について、自院のデータから対象患者を検討してみましょう。

TOPICS

1. 新しくできる“地域包括医療病棟入院料”はどんな病床？

👉 新しくできた背景や主要な施設基準をおさらいしよう。

2. Libraの【カスタムデータ抽出】使って対象患者をシミュレーション

👉 《カスタムデータ抽出》を使って疾患別に自院の症例を置き換えてみよう。

【免責事項】

本資料でご提供するアドバイス及び情報等は、作成時点で私どもが把握している事実及び情報、法律等に基づいています。そのため、記載されるアドバイス及び情報等が不適切な場合がありますのでご注意ください。貴殿の実行及び意思決定等につきまして、弊社は助言の範囲を超えるものではないことをあらかじめご了承ください。



2024年改定新設！ “地域包括医療病棟入院料”はどんな病床？

今後ますます増えることが見込まれる“高齢者救急”を担うことを期待されて新設される病棟と言えます。ポストアキュート(急性期の受け皿)機能がメインである地域包括ケアに対して、サブアキュート(一定の急性期に対応する)機能を担うのが地域包括医療病棟であり、さらに高齢者特有の状況に対応できるよう、栄養管理やADL管理が要件化されています。

令和6年度診療報酬改定 II-2 生活に配慮した医療の推進など地域包括ケアシステムの深化・推進のための取組-① 等

地域包括医療病棟① 病棟のイメージ

背景

- 高齢者の人口増加に伴い、**高齢者の救急搬送者数が増加**し、中でも**軽症・中等症が増加**している。
- 急性期病棟に入院した高齢者の一部は、**急性期の治療を受けている間に離床が進まず、ADLが低下し、急性期から回復期に転院**することになり、**在宅復帰が遅くなるケース**があることが報告されている。
- 高齢者の入院患者においては、医療資源投入量の少ない傾向にある誤嚥性肺炎や尿路感染といった疾患が多い。
(高度急性期を担う病院とは医療資源投入量が**ミスマッチとなる可能性**)
- 誤嚥性肺炎患者に対し**早期にリハビリテーション**を実施することは、**死亡率の低下とADLの改善**につながることを示されている
- 入院時、高齢患者の一定割合が**低栄養リスク状態又は低栄養**である。また、**高齢入院患者の栄養状態不良と生命予後不良は関連**がみられる。

地域包括医療病棟における医療サービスのイメージ



救急患者を受け入れる体制を整備



一定の医療資源を投入し、急性期を速やかに離脱



早期の退院に向け、リハビリ、栄養管理等を提供



退院に向けた支援
適切な意思決定支援



早期の在宅復帰

10対1の看護配置に加えて、療法士、管理栄養士、看護補助者(介護福祉士含む)による高齢者医療に必要な多職種配置

包括的に提供

出典:

令和6年度診療報酬改定説明資料等について

(https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000196352_00012.html)

2024年改定新設！ “地域包括医療病棟入院料”はどんな病床？

地域包括医療病棟入院料の主要な施設基準を、【急性期一般入院料4】や【地域包括ケア病棟入院料2】と比較しています。

施設基準等		急性期一般入院料4	地域包括医療病棟入院料	地域包括ケア病棟入院料2
入院基本料／入院料		1,462点	3,050点	2,649点
単位		一般病棟	一般病棟	一般／療養病棟
看護配置		10対1	10対1	13対1
常勤のPT/OT/STの病棟配置		－	2人以上	1人以上
常勤(専任)の管理栄養士の病棟配置		－	1人以上	－
重症度、医療・看護必要度(Ⅱ)	基準①	15%以上	15%以上	8%以上
	基準②	－	初日B3点:50%以上	－
平均在院日数		21日以内	21日以内	60日以内
在宅復帰率		－	80%以上	72.5%以上
一般病棟からの院内転棟患者割合		－	5%未満	65%未満
救急搬送患者割合(救急患者連携搬送料含)		－	15%以上	3ヵ月9人以上
データ提出加算の届出		必須	必須	必須
届出NG	特定機能病院・専門病院・急充体加算	－	×	特定機能病院×
脳血管リハ、運動器リハの届出		－	必須	必須
365日リハ実施体制		－	○	－
入退院支援加算1の届出		－	必須	必須
入棟時－退棟時のBarthel Indexが低下した患者割合		－	5%未満	－

当院は高齢者が多いから対象患者は多そう…検討したほうが良い？

点数は魅力的だけれども、運用が難しそう…



Libraの【カスタムデータ抽出】使って対象患者をシミュレーション 《カスタムデータ抽出》を使って疾患別に自院の症例を置き換えてみよう。

多数のユーザー様からのご相談をいただき、LibraではDPCデータを使って自院症例を地域包括医療病棟入院料に置き換えたら？という試算結果をご確認いただく帳票をご用意しました！

《カスタムデータ抽出》の以下の帳票(DPC病院用／出来高病院用)を使ってぜひ院内の届出の可能性、届出時の運用検討にご活用ください。

トップメニューで
カスタムデータ抽出を選択

【帳票検索】欄を使って検索
(例：地域包括医療病棟)

使いたい帳票の左にある
実行ボタンをクリック



カスタムデータ抽出

帳票一覧
実行したい帳票の🔍をクリックしてください。
実行確認ダイアログが開きます。

帳票検索: 地域包括医療病棟

実行	ID	帳票タイトル	お気に入り	いいね!
	310	【2024年度改定・試算】(出来高病院) 地域包括医療病棟シミュレーション	☆	👍 8
	306	【2024年度改定・試算】(DPC病院) 地域包括医療病棟シミュレーション	☆	👍 7

DPC病院は帳票ID306
出来高病院は帳票ID310
をそれぞれ使ってね！



Libraの【カスタムデータ抽出】使って対象患者をシミュレーション 《カスタムデータ抽出》を使って疾患別に自院の症例を置き換えてみよう。

【帳票の概要】にて、抽出データの集計期間を設定し、実行すると画面に集計結果が表示されます。出力項目が多いことから、Excel等でダウンロードしてお手元のパソコン上で作業いただくことをおすすめします。

データの抽出条件(集計開始・終了年月)を設定

OKボタンをクリックする

集計結果が表示される
(Excelダウンロードも可)

データ抽出実行確認ダイアログ

以下のデータ抽出の条件を設定してください。

帳票タイトル
【2024年度改定・試算】
ション

帳票の概要
入院日数が90日以内の
料に置き換えた際の計
算結果も場合の収益

抽出条件:
:fromYm
202304
:toYm
202403

2023年4月～2024年3月で
集計したい場合にはこのように
半角英数字で入力するよ。



Libra デモA病院(急性期&地域包括ケア/300床規模/DPC対象)

カスタムデータ抽出

データ抽出結果 CSVでダウンロード EXCELでダウンロード

DPC	DPC名称	症例数	平均DPC日数	延べ患者数	差(23-24)	診療収益(実績、0)	地域包括医療(試算、0)	診療
020110x97xxx0	白内障、水晶体の疾患手術あり重症度:片眼	156						
040081x099x0x	顕微鏡手術なし手術・処置等2なし	66						
070220x01xxxx	膝関節症(変形性を含む。)人工関節再置換術等	52						
110310x099xxx	腎臓又は尿路の感染症手術なし	50						
180030xxxxxxx0x	その他の感染症(真菌を除く。) 副傷病なし	45						
060160x01xxxx	経皮ヘルニア(15歳以上) ヘルニア手術 経皮ヘルニア等	44						
110080x0991xxx	前立腺の悪性腫瘍手術なし手術・処置等1あり	42						
050130x09900x0	心不全手術なし手術・処置等1なし手術・処置等2なし重症度:他の病院・診療所の病種からの転院以外	38						
110280x099000x	慢性腎臓病(慢性腎臓病)慢性腎不全手術なし手術・処置等1なし手術・処置等2なし	33						
100070xxxxx0x	2型糖尿病(糖尿病性ケトアシドーシスを除く。) 手術・処置等2:1あり	31						
050070x011xxx	脳動脈瘤手術 経皮的カテーテル心筋焼灼術手術・処置等2なし	31						
020160x07xxx0	網膜剥離手術あり重症度:片眼	31						
020200x0711xxx	黄斑、後網膜手術あり手術・処置等1あり手術・処置等2なし	30						
070400x01xxxx	股関節骨節壊死、股関節症(変形性を含む。)人工関節再置換術等	29						
040110xxxxxxx0x	胆嚢性肺炎 手術・処置等2なし	28						
160800x01xxxx	股関節・大腿近位の骨幹人工骨置換手術 肩、股等	27						
050050x02000x	狭心症、慢性虚血性心疾患 経皮的冠動脈形成術等手術・処置等1なし、1,2あり手術・処置等2なし	25						
060210x099000x	ヘルニアの記載のない腹腔壁手術なし手術・処置等1なし手術・処置等2なし 副傷病なし	24						
060335x02000x	胆嚢炎等 腹腔鏡下胆嚢摘出術等手術・処置等1なし手術・処置等2なし 副傷病なし	22						
050050x09910x0	狭心症、慢性虚血性心疾患手術なし手術・処置等1あり手術・処置等2なし重症度:他の病院・診療所の病種からの転院以外	22						
060340x03x00x	胆嚢(肝内外)結石、胆嚢炎 腹腔鏡性胆嚢摘出術等手術・処置等2なし 副傷病なし	21						
180030xxxxxxx1x	その他の感染症(真菌を除く。) 副傷病あり	21						
040040x099200x	肺の悪性腫瘍手術なし手術・処置等1:2あり手術・処置等2なし 副傷病なし	20						

帳票一覧 実行履歴

DPC病院／出来高病院いずれも共通して、以下の条件で地域包括医療病棟入院料への置換えシミュレーションを行っています。あくまで簡易的な集計となっていますので、実際の届出や運用にあたっては、通知や疑義解釈等を必ずご確認くださいませよう、お願いいたします。

前提条件

- ・入院患者のうち病院全体での入院日数が90日以内の患者を対象に、地域包括医療病棟入院料(3,050点)に置き換えを実施。
- ・EFファイル、様式1、Hファイルなど集計に必要なかつ適切なデータが揃っている患者が試算対象となりますので、ご了承ください。
- ・地域包括医療病棟入院料における包括請求・出来高請求の項目は、DPC請求方法とほぼ合致することから、本試算では、そのロジックをそれぞれの診療行為、医薬品、材料などに転用しています。
- ・地域包括医療病棟入院料の各種加算は加味されません。自院の届出状況を踏まえて、集計結果に別途加算いただきますようお願いいたします※1。

※1…Libraサポートサイトに計算フォーマットがございますので、あわせてご覧ください。

帳票データ

以下に含まれない指標を追加抽出することはできません。ご了承ください。

実際の診療収益(DPC病院の場合は医療機関別係数含む)

地域包括医療病棟で請求した場合の試算額

実績と試算の収益差

症例数

平均入院日数

救急搬送率(様式1・救急搬送の有無より)

在宅復帰率(様式1・退院先より)

必要度ⅠおよびⅡ

入院初日B得点3点以上割合

各DPC期間の該当延べ患者数

※DPC病院用のみ

参考)各DPCコードの期間別点数・日数

※DPC病院用のみ

Libraの【カスタムデータ抽出】使って対象患者をシミュレーション 《カスタムデータ抽出》を使って疾患別に自院の症例を置き換えてみよう。

《カスタムデータ抽出》を使ってダウンロードした患者一覧を、Libraサポートサイトにてご提供しているフォーマットExcelを活用いただきますと、各種加算を加味して試算いただけます。

Step① フォーマットExcelの「1. 自院の加算を登録する」を設定する。

1. 自院の加算を登録する

届出状況（E列、初期加算を除く）について、自院で届出をしている、届出を検討している項目＝試算結果に反映したい項目を「○」に切り替えてください。

「○」とされた加算については、試算において、平均入院日数にあわせて（最大14日まで）加算金額を反映します。患者1人1人の入院日数にあわせた試算ではない点、ご了承ください。

種類	診療報酬項目	点数	届出状況	反映される金額
初期加算	初期加算	150点	○	1,500円
看護補助体制加算	看護補助体制加算（25対1、補助者5割以上）	240点	○	2,400円
	看護補助体制加算（25対1、補助者5割未満）	220点	×	FALSE
	看護補助体制加算（50対1）	200点	×	FALSE
	看護補助体制加算（75対1）	160点	×	FALSE
夜間看護補助体制加算	夜間看護補助体制加算（30対1）	125点	×	FALSE
	夜間看護補助体制加算（50対1）	120点	○	1,200円
	夜間看護補助体制加算（100対1）	105点	×	FALSE
夜間看護体制加算	夜間看護体制加算	71点	×	FALSE
看護補助体制充実加算	加算1	25点	○	250円
	加算2	15点	×	FALSE
	加算3	5点	×	FALSE
看護職員夜間配置加算	12対1配置加算1	110点	×	FALSE
	12対1配置加算2	90点	×	FALSE
	16対1配置加算1	70点	×	FALSE
	16対1配置加算2	45点	×	FALSE
リハビリテーション・栄養・口腔連携加算	リハビリテーション・栄養・口腔連携加算	80点	○	800円

患者1人1日あたり（最大14日まで）加算する金額は **6,150円** とする。

以下の加算について、自院で届出状況に応じてシミュレーション結果に反映いただきますようお願いいたします。

点数(1日につき)			算定要件/施設基準等			
初期加算		150点	入院日から14日を限度として算定			
看護補助 体制加算	25対1(補助者5割以上)	240点	入院日から 14日を限度 として算定	<ul style="list-style-type: none"> 事務的業務を行う場合は、常時、入院患者の数が200対1に相当する数以下であること。 看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に資する体制が整備されていること。 		
	25対1(補助者5割未満)	220点				
	50対1	200点				
	75対1	160点				
夜間看護 補助体制 加算	30対1	125点	夜間における看護業務の補助の体制につき病棟に入院している患者(看護補助体制加算を算定する患者に限る)について、1日につきそれぞれ更に所定点数に加算する。			
	50対1	120点				
	100対1	105点				
夜間看護体制加算		71点	<ul style="list-style-type: none"> 夜勤時間帯に看護補助者を配置していること。 夜間における看護業務の負担の軽減に資する十分な業務管理等の体制が整備されていること。 			
看護補助 体制充実 加算	加算1	25点	身体的拘束 実施日は加 算3	<ul style="list-style-type: none"> 院内研修の実施 看護師長の所定研修修了 /看護職員が年1回以上 研修受講 	<ul style="list-style-type: none"> 直接ケア100対1以上 (介護福祉士or3年以上経験の研 修修了者) 	3年以上経験者50%以上
	加算2	15点				—
	加算3	5点			—	
看護職員 夜間配置 加算	12対1配置加算1	110点	入院日から 14日を限度 として算定	看護職員の負担の軽減及び処 遇の改善に資する体制整備	夜間看護業務負担軽減の業務管理等の体制整備	
	12対1配置加算2	90点			—	
	16対1配置加算1	70点			夜間看護業務負担軽減の業務管理等の体制整備	
	16対1配置加算2	45点			—	
リハビリテーション・栄養・口腔連携加算		80点	ADL等の維持、向上及び栄養管理、口腔管理等に資する十分な体制が整備されていること。			

Libraの【カスタムデータ抽出】使って対象患者をシミュレーション 《カスタムデータ抽出》を使って疾患別に自院の症例を置き換えてみよう。

《カスタムデータ抽出》を使ってダウンロードした患者一覧を、Libraサポートサイトにてご提供しているフォーマットExcelを活用いただきますと、各種加算を加味して試算いただけます。

Step② ダウンロード結果をExcelフォーマット「2. 帳票結果を貼り付ける」に貼り付ける。

★出来高病院★

2. 《カスタムデータ抽出》でダウンロードした結果を貼り付ける

CSVやExcelでダウンロードした結果を、以下のフォーマットに貼り付けてください（最大3000行まで対応）。
使いやすいようにフィルタを付けていますが、**並べ替えはしないようご注意ください**（設定している関数が崩れてしまいます）。
関数が崩れてしまった場合には改めてExcelフォーマットをダウンロードしておいてください。

ICD	ICD名称	症例数	平均入院日数	延べ患者数	差(②-①)	診療収益(実績、①)	地域包括医療(試算、②)	診療単価(実績)	診療単価(試算)	救急搬送率	在宅復帰率	一般・必要度Ⅰ	一般・必要度Ⅱ	初日B得点3点以上	▼自院の加算を加味した場合		
															地域包括医療(試算、③)	差(③-①)	診療単価(試算)
J		34,911		36,175		32.10%	59.80%	14%	14%	90%	98,436,514	3,582,714	36,230				
[60,749		32,808		0.00%	100.00%	84%	84%	0%	5,033,137	-4,261,487	32,896				
]		57,942		41,312		38.60%	90.90%	12%	10%	70%	21,388,817	-8,509,465	41,451				
[39,537		43,247		31.70%	70.70%	13%	17%	80%	51,815,746	4,608,542	43,397				
]		65,232		32,428		0.00%	100.00%	100%	100%	0%	2,411,990	-2,415,146	32,594				
[42,140		38,612		3.00%	72.70%	0%	0%	91%	7,139,119	-614,730	38,800				
]		57,469		57,827		12.50%	78.10%	39%	44%	59%	16,419,196	155,484	58,018				
[65,088		32,190		0.00%	100.00%	97%	97%	0%	2,008,088	-2,027,348	32,389				
]		37,595		36,983		29.00%	80.60%	6%	8%	66%	23,200,981	-258,263	37,181				
[33,819		36,396		43.30%	73.30%	1%	7%	89%	20,386,971	1,549,967	36,601				
]		36,008		36,968		28.60%	78.60%	11%	13%	35%	25,287,739	802,173	37,188				
[46,338		33,118		0.00%	100.00%	0%	0%	0%	1,800,660	-701,580	33,346				
]		144,567		148,382		0.00%	92.30%	64%	64%	35%	29,128,899	793,787	148,617				
[41,514		42,662		16.00%	60.00%	17%	24%	72%	19,823,579	644,275	42,908				
]		59,143		33,064		0.00%	100.00%	76%	76%	0%	1,931,835	-1,498,443	33,308				
[35,703		40,251		27.30%	86.40%	4%	4%	67%	34,572,811	4,118,035	40,531				
]		37,637		52,093		25.00%	85.00%	3%	6%	84%	58,741,566	16,550,228	52,401				
[34,723		35,965		5.00%	95.00%	5%	5%	60%	23,613,499	1,009,007	36,273				
]		37,236		38,047		15.00%	80.00%	13%	18%	63%	11,276,288	328,849	38,358				
[44,011		38,839		77.80%	100.00%	0%	28%	53%	2,507,860	-308,870	39,188				
]		44,077		56,663		27.80%	77.80%	16%	20%	73%	27,590,117	6,257,003	57,004				
[38,230		37,313		16.70%	61.10%	48%	36%	50%	22,630,329	-346,153	37,654				

1_自院の加算を登録する 2_帳票結果を貼り付ける (出来高) 2_帳票結果を貼り付ける (DPC) 3.転換ボタンまとめ

Libraの【カスタムデータ抽出】使って対象患者をシミュレーション 《カスタムデータ抽出》を使って疾患別に自院の症例を置き換えてみよう。

《カスタムデータ抽出》を使ってダウンロードした患者一覧を、Libraサポートサイトにてご提供しているフォーマットExcelを活用いただきますと、各種加算を加味して試算いただけます。

Step③ 「転換パターンまとめ」として、試算結果が表示される。

3. 設定したパターン（最大3種類）で試算結果を比較する

「2_帳票結果を貼り付ける」の中で、【転換パターン①（試算結果が増収する症例）】【転換パターン②】【転換パターン③】列に○をつけた症例を対象に試算結果をまとめています。パターン②、パターン③はそれぞれ以下の条件（②平均入院日数、③救急搬送率）で設定していますが、「2_帳票結果を貼り付ける」のパターン②③の○を付け替えることで、ご自身でシミュレーションパターンを調整いただくことも可能です（転換対象としたい疾患に○をつけると集計されます）

		症例数	延べ患者数	平均入院日数	現在の診療収益	試算された診療収益	増収効果	診療単価
パターン①	試算結果から増収する疾患すべての場合	1,650人	42,725人	25.9日	1,735,597千円	2,128,289千円	392,692千円	49,814円
パターン②	試算結果から増収する患者のうち、平均入院日数が30日以内である疾患に絞った場合	1,038人	17,884人	17.2日	734,297千円	816,229千円	81,931千円	45,640円
パターン③	試算結果から増収する患者のうち、救急搬送患者の割合が15%以上である疾患に絞った場合	765人	23,038人	30.1日	902,963千円	1,125,497千円	222,534千円	48,854円
パターン④	※ご自由に設定してください。	0人	0人	#DIV/0!	0千円	0千円	0千円	#DIV/0!

Libraの【カスタムデータ抽出】使って対象患者をシミュレーション 《カスタムデータ抽出》を使って疾患別に自院の症例を置き換えてみよう。

《カスタムデータ抽出》を使ってダウンロードした患者一覧を、Libraサポートサイトにてご提供しているフォーマットExcelを活用いただきますと、各種加算を加味して試算いただけます。

お手元で転換対象とする疾患を絞る(パターン④を使う)場合には・・・

使いやすくフィルタを付けていますが、並べ替えはしないようご注意ください(設定している関数が崩れてしまいます)。関数が崩れてしまった場合には改めてExcelフォーマットをダウンロードしなおしてください。

ICD	ICD名称	症例数	平均入院 日数	延べ患者 数	差(②- ①)	診療収益 (実績、 ①)	地域包括医 療(試算、 ②)	診療単価 (実績)	診療単価 (試算)	救急搬送 率	在宅復帰 率	一般・必 要度Ⅰ	一般・必 要度Ⅱ	初日B得 点3点以 上	▼自院の加算を加味した場合			▼自由に設定				
															地域包括医 療(試算、 ③)	差(③- ①)	診療単価 (試算)	転換 パターン①	転換 パターン②	転換 パターン③	転換 パターン④	
										32.10%	59.80%	14%	14%	90%	98,436,514	3,582,714	36,230	○	○	○		
										0.00%	100.00%	84%	84%	0%	5,033,137	-4,261,487	32,896	-	-	-		
										38.60%	90.90%	12%	10%	70%	21,388,817	-8,509,465	41,451	-	-	-		
										31.70%	70.70%	13%	17%	80%	51,815,746	4,608,542	43,397	○	○	○		
										0.00%	100.00%	100%	100%	0%	2,411,990	-2,415,146	32,594	-	-	-		
										3.00%	72.70%	0%	0%	91%	7,139,119	-614,730	38,800	-	-	-		
										12.50%	78.10%	39%	44%	59%	16,419,196	155,484	58,018	○	○	-		
										0.00%	100.00%	97%	97%	0%	2,008,088	-2,027,348	32,389	-	-	-		
										29.00%	80.60%	6%	8%	66%	23,200,981	-258,263	37,181	-	-	-		
										43.30%	73.30%	1%	7%	89%	20,386,971	1,549,967	36,601	○	○	○		
										28.60%	78.60%	11%	13%	35%	25,287,730	802,173	37,188	○	○	○		
										0.00%	100.00%	0%	0%	0%								
										0.00%	92.30%	64%	64%	35%								
										16.00%	60.00%	17%	24%	72%								
										0.00%	100.00%	76%	76%	0%								
										27.30%	86.40%	4%	4%	67%								
										25.00%			6%	84%								
										5.00%			5%	60%								
										15.00%			18%	63%								
										77.80%			28%	53%								
										27.00%			28%	28%								

1つ1つ、試算対象にしたい疾患を選ぶ場合には、このパターン④の列に○を入力して行ってね。



ご質問やご要望などお気軽にご連絡ください。



サポート窓口



050-1807-3468

直通電話

平日9:00~17:00



libra-support@nkgr.co.jp

